

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 11 月 28 日

L I X I L 健康保険組合

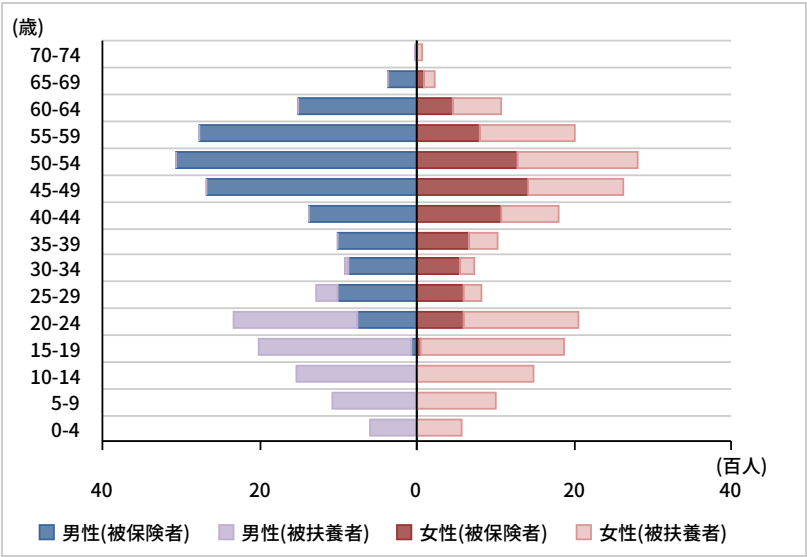
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	27061		
組合名称	LIXIL健康保険組合		
形態	単一		
業種	金属工業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	22,994名 男性67.9% (平均年齢46.2歳) * 女性32.1% (平均年齢42.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	43,197名	-名	-名
適用事業所数	17カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点 数	337カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	90.04‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	19	0	-	-	-	-
事業主	産業医	1	74	-	-	-	-
	保健師等	2	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	17,890 / 21,444 = 83.4 %					
	被保険者	15,011 / 15,965 = 94.0 %					
	被扶養者	2,879 / 5,479 = 52.5 %					
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	1,300 / 3,378 = 38.5 %					
	被保険者	1,290 / 3,149 = 41.0 %					
	被扶養者	10 / 229 = 4.4 %					

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	26,346	1,146	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	88,856	3,864	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	22,420	975	-	-	-	-
	疾病予防費	766,378	33,329	-	-	-	-
	体育奨励費	0	0	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	904,000	39,315	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	13,547,123	589,159	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	6.67		-		-	

令和6年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	59人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	748人	25～29	997人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	864人	35～39	1,016人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,375人	45～49	2,675人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3,053人	55～59	2,775人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,498人	65～69	368人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	8人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	40人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	596人	25～29	594人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	556人	35～39	661人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,079人	45～49	1,421人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,285人	55～59	804人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	463人	65～69	94人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	596人	5～9	1,080人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,534人	15～19	1,945人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,576人	25～29	284人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	54人	35～39	7人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	11人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	11人	55～59	4人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	5人	65～69	9人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	14人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	572人	5～9	1,002人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	1,485人	15～19	1,820人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,461人	25～29	230人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	190人	35～39	373人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	738人	45～49	1,221人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,529人	55～59	1,221人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	607人	65～69	145人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	58人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・大規模な健康保険組合である。
- ・全適用事業所のうち、株式会社LIXILに所属する者が約8割を占める。（記載なし）
- ・事業所は全国に点在、業態は、株式会社LIXILは管理、生産、営業と大きく分けられ、その他、関連事業会社が含まれる。（記載なし）
- ・被保険者の約7割が男性。男性 35～54歳、女性 30～49歳に約7割が該当する。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴
二次予防（早期発見・早期治療）、三次予防（重症化防止）の取り組みが中心となっており、一次予防への取り組みが少ない。
事業所との連携体制も整備されてきている。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
疾病予防	健康づくりキャンペーン
疾病予防	健診前ちょこっとダイエット
疾病予防	ウォーキングラリー
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関誌の発行・社内SNSによる情報発信
疾病予防	人間ドック受診者への補助
疾病予防	がん検診受診者への補助
疾病予防	婦人科健診受診者への補助
疾病予防	脳検査受診者への補助
疾病予防	重症化防止活動
疾病予防	インフルエンザ予防接種者への補助
疾病予防	禁煙サポート
疾病予防	各種セミナー
疾病予防	高齢者訪問健康指導
疾病予防	後発医薬品差額通知
疾病予防	育児図書配布
疾病予防	常備薬配布
疾病予防	健康優良者表彰
疾病予防	つよい子キャンペーン
予算措置なし	スポーツジム利用者への補助
事業主の取組	
1	定期健診
2	健康診断事後措置に伴う個別指導
3	重症化防止活動対象者への受診勧奨
4	ころとからだの健康相談窓口の設置

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り				注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
疾病予防	2	健康づくりキャンペーン	参加率の向上	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1,276	延べ参加者数：4,778名 7月、12月の2回実施	前年より参加人数が大幅に増加。健康経営実施により、健康意識が高まってきたものと思われる	参加率が低い。周知方法を検討	2	
	2	健診前ちょっとダイエット	肥満対策による生活習慣病の予防	全て	男女	18～74	被保険者	-	健診前にダイエットに取り組むプログラムを提供	在宅勤務や加齢による体に変化から、ダイエットへの関心が高まっている	BMI25以上の参加率をあげる方法を考える	2	
	2	ウォーキングラリー	健康的なウォーキング習慣の定着による、病気予防	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	-	5月、11月	参加しやすいよう、達成賞（8割達成）に加えて、努力賞（6割達成）を新設した	努力賞のPR不足	4	
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診（被保険者）	実施率 95.0%	全て	男女	40～74	被保険者	0	努力賞のPR不足	受診期間については、コロナ禍以前の期間に戻した 定期健診と特定健診を同時に集団で実施し、双方の健診結果として活用している	近隣の医療機関で受診した人の結果のデータが未対応である	4	
	3	特定健診（被扶養者）	実施率 60%	全て	男女	40～74	被扶養者	36,300	受診期間：4月～3月 実施方法：会場指定または近隣医療機関利用	従来通り、同じ時期に自宅宛に受診手順を送付し、受診案内を行った	未受診者への勧奨を行っていない	4	
特定保健指導事業	4	特定保健指導	実施率を上げる	全て	男女	35～59	被保険者	29,427	初回支援実施者数見込み：1,889名(積極的支援1,132名、動機づけ支援757名)	対象者全てに実施 職種によりzoom、ipadなどを使い分け、ICT面談を主体として実施した	オンライン面談としたが、工場など出社している人の参加率が低かった	4	
保健指導宣伝 疾病予防	2	機関誌の発行・社内SNSによる情報発信	加入者の方に法改正及び健康増進関連情報をタイムリーに伝える	全て	男女	0～74	加入者全員	6,384	機関誌：年2回(春・秋)発行 WPIにて12月まで毎月15日に「けんぼ通信」を掲載	機関誌はご家族にも情報をお伝えできるように自宅配送を継続 WPIにて健保の事業や制度を繰返し紹介	社内でのWPの活用度はあがってきている。事業所からの情報発信と重複するため、1月から「けんぼ通信」の定期配信を中止し、イベントの都度、案内を掲載することとした	4	
	3	人間ドック受診者への補助	健康意識の向上	全て	男女	40～74	基準該当者	409,507	4～9月	受診期間厳守を事業所と協働で実施	契約医療機関の少ない地域が残っている	4	
	3	がん検診受診者への補助	胃がん予防	全て	男女	35～74	基準該当者	726	年一回、35歳のみ 定期健診時に「ピロリ菌抗体検査」を追加実施 陽性者を把握	健診時の検査項目として問題なくスムーズに実施できている	集団健診以外での受診者、36歳以上の新規加入者は未実施となる	4	
	3	婦人科健診受診者への補助	受診率の向上	全て	女性	20～74	被保険者,基準該当者	18,456	実施期間：通年	受診者の利便性を考慮し、契約機関を定めず、自由に健診機関・受診日を選択できる方法としている	受診率はコロナ前に戻りつつも受診率が高いとは言えない 健診の必要性を理解してもらう方策を検討する必要がある	4	
	3	脳検査受診者への補助	健康意識の向上	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	52,217	実施時期：4～9月	-	効果測定方法が確立できていない	3	
	4	重症化防止活動	継続受診者100%にできる限り近づけるよう第二期では医療機関受診率90.0%、重症化により発生する疾病0(ゼロ)を目標に活動を継続する	全て	男女	18～74	被保険者	0	受診状況管理対象者：873名(12月診療実績)	リニューアルしたシステムで、効率よく安定的な運用ができるようになった	社内の環境変化により、システムの改修等の必要性がある	4	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	インフルエンザ予防接種者への補助	インフルエンザの医療費抑制	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	25,654	実施時期：10～12月年一回	-	効果検証方法が未確立	3
	5	禁煙サポート	喫煙率を下げる	全て	男女	20～74	被保険者	122	通年	無償配付は禁煙にチャレンジしやすい反面、禁煙率は伸びない	希望者が少ない	2
	5	各種セミナー	従業員の健康意識を高める	全て	男女	18～74	被保険者	990	Workplaceで参加者を募集し。9月21日に実施	事業所や労組などに周知の協力いただくことで、参加者が増やすことができた	アーカイブ動画を用意しWorkplaceで案内をしたが、広く周知できなかった	4
	4	高齢者訪問健康指導	抛出金に影響の大きい前期高齢者の医療費を抑えるため、重複・頻回受診者0(ゼロ)を目標とした専門職による訪問指導を行う	全て	男女	65～73	被扶養者	69	年1回実施 重複・頻回受診者にターゲットを絞り実施	感染防止対策として訪問は中止とし、電話相談として実施した	12人のうち2人については、対象者の希望により電話ではなく、訪問ができた	3
	7	後発医薬品差額通知	ジェネリックの切替率を上げる	全て	男女	0～74	加入者全員,基準該当者	1,347	通知発送時期と対象疾病 ・8月 全疾患 ・12月 全疾患	継続して通知していること 対象者を拡大しお知らせしたこと	対象者が減少して、発送件数は減少しているものの、ジェネリックへの切替が浸透しているため、使用率は上がっている	4
	5	育児図書配布	子育ての意識向上	全て	男女	18～74	基準該当者	107	申込者へ通年を通して配布	3種類の中から選択	年々、出生者数が減少してきている為、達成度のUPは厳しい	1
	8	常備薬配布	配付した常備薬を利用することで、医療費を削減する	全て	男女	18～74	被保険者	32,135	年一回実施 案内送付月：9月 申込締切月：10月	一定料金まで無料で商品が選択できる 無償上限額を1,200円から1,500円に引き上げた	年一回の配布は認知されてきたが、申込期限を過ぎてからの申込みが多数ある	4
	8	健康優良者表彰	健康意識の向上	全て	男女	18～74	基準該当者	276	年一回応募者に対し実施	健康な人が褒賞を受けられる仕組みである	治療等が必要にも関わらず受診していない人が含まれている可能性がある	4
	3,5	つよい子キャンペーン	歯科に有効な方策を検討、立案、実施する	全て	男女	0～74	基準該当者	5,199	期間:10月～12月 アンケート:1月31日までに回答	達成までのハードルが低いので比較的参加しやすい	提出期限を過ぎてからの提出がある	4
予算措置なし	5	スポーツジム利用者への補助	利用者数を増やす	全て	男女	0～74	加入者全員	4,255	実施期間：通年	機関誌およびホームページによるPR	コロナ禍より利用者数はだいぶ戻ってきたが、目標値には届かず 地方の施設増が必要	4

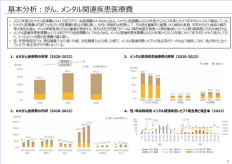
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健診	労働安全衛生法に基づく 健診の実施	被保険者	男女	18 ～ (上 限 なし)	実施率 99.1%	・就業時間内に事業場内で実施の機会を提供 ・未実施者へ受診勧奨通知	・度重なる受診勧奨を行っても未受診のものが なくならない ・小規模の事業所や出向先勤務者の実施の把握 が困難	有
健康診断事後措置 に伴う個別指導	精密検査、治療などで医療機関受診が必要な者へ受診勧奨を実施	被保険者	男女	18 ～ (上 限 なし)	—	・定期健診は、個人の結果票に医療機関受診の 案内文書を同封し、文書による受診勧奨を実施	・総務担当者が受診勧奨を実施しており、結果 に関する詳細が把握しにくい ・毎年対象となるものなどは、受診勧奨慣れし てしまい放置するケースがある	無
重症化防止活動対 象者への受診勧奨	慢性疾患の重症化を防止し、従業員の勤務生活の質を下げない 健保からの対象者情報に基づき、未受診者・通院中断者への受診	被保険者	男女	18 ～ 74	医療機関受診率 64.3% (重症度178.9%・1156.8%)	健保からの情報提供（該当疾患の受診の有無） により、未受診者を把握し、受診勧奨が実施で きる	・最終的な受診の意志は本人にゆだねられてい るため、100%の受診達成が困難	有
こころとからだの 健康相談窓口の設 置	従業員が明るく活き活きと仕事ができるよう事業所保健師が健康相 談を受付、サポートする	被保険者	男女	18 ～ (上 限 なし)	—	事業所保健師が相談に応じることで、社内事情 を考慮した健康相談が実施できる	・2015年1月開設のため、実績・課題ともに不明	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

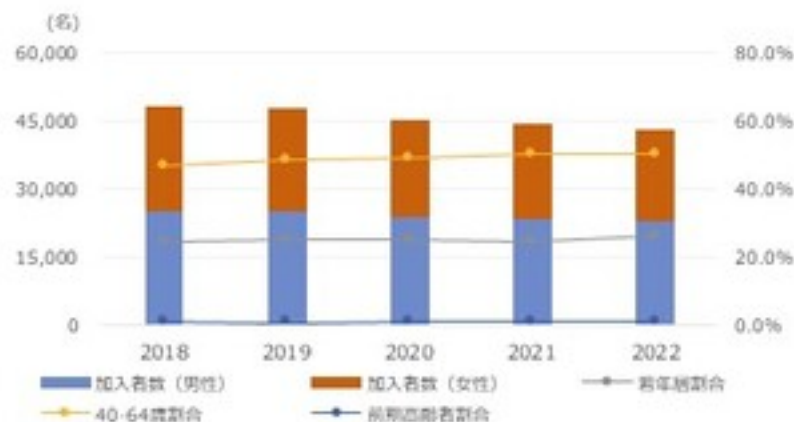
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		組合の特徴	-	-
イ		医療費の概要 (1)	-	-
ウ		医療費の概要 (2)	-	-
エ		生活習慣関連疾患医療費	-	-
オ		がん、メンタル関連疾患医療費	-	-
カ		歯科医療費	-	-

キ	基本分析：ジェネリック医薬品の普及状況、女性に特徴的な疾患の医療費	ジェネリック医薬品の普及状況、女性に特徴的な疾患の医療費	-	-
ク	基本分析：特定健診、特定保健指導	特定健診、特定保健指導	-	-
ケ	基本分析：特定健康診査から見えるリスク者の状況	特定健康診査から見えるリスク者の状況	-	-
コ	健康課題の整理	健康課題の整理	-	-
サ	第3期データヘルス計画で実施する保健事業の実施計画	第3期データヘルス計画で実施する保健事業の実施計画	-	-

基本分析：組合の特徴

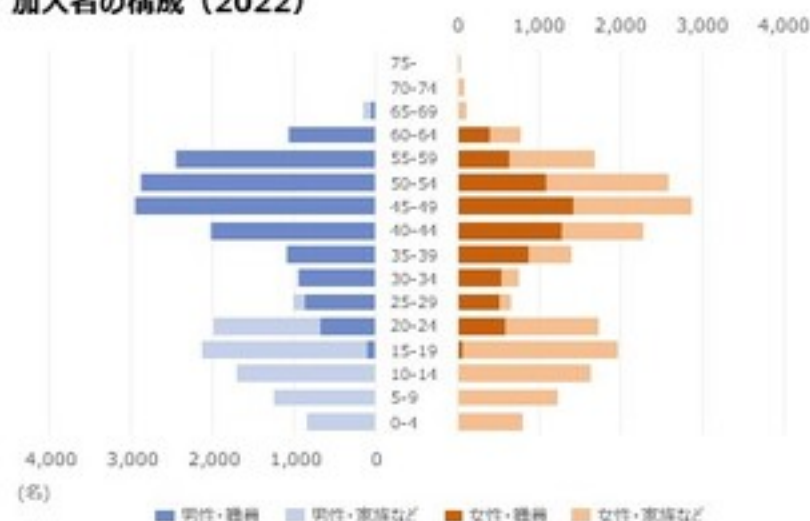
- 2022年度の加入者数は43,143名、2018年度に比べて年平均2.6%で減少しているが、全国の単一健保の中では大規模健保であり加入者数が多く、加入事業所も17事業所と複数の事業所が加入している
- 加入者構成の特徴として、男性では45-49歳が男性全体の13.1%と最も多く、女性では45-49歳が女性全体の14.0%と最も多くなっている。
- 主な加入事業所の業態は、「製造業」「卸売業」からなり、事務所や工場などの勤務がある。

1. 加入者数の推移（2018-2022）



	年平均	2018	2019	2020	2021	2022
加入者数(名)	-2.6%	47,985	47,753	45,268	44,065	43,143
男性の割合	+0.1%pt	52.1%	52.2%	52.2%	52.3%	52.5%
女性の割合	-0.1%pt	47.9%	47.8%	47.8%	47.7%	47.5%
若年層の割合	+0.4%pt	24.3%	24.7%	25.1%	24.6%	25.9%
40-64歳の割合	+0.8%pt	46.8%	48.4%	48.9%	49.9%	50.1%
前期高齢者の割合	0.0%pt	0.7%	0.7%	0.8%	0.9%	0.9%

2. 加入者の構成（2022）



3. 主な加入事業所の特徴（2022）

	業態	被保険者数	被保険者割合	特徴
株式会社LIXIL	製造業	18,000名	81.0%	オフィス・工場勤務あり
株式会社LIXILサンウエーブ製作所	製造業	694名	3.1%	工場勤務あり
株式会社前橋LIXIL製作所	製造業	489名	2.2%	工場勤務あり

基本分析：医療費の概要（1）

- 2022年度の年間総医療費は7,106.9百万円、5年間で年平均2.3%増加している。加入者1人あたり医療費が5年間で年平均4.3%増加していることが主な医療費変化の要因と考えられる。
- 2022年度の加入者区分別加入者1人あたり医療費を健保連加入者1人あたり医療費と比較すると、特に職員の20-24歳、35-39歳、40-44歳、家族などの0-4歳、25-29歳、30-34歳で貴組合の1人あたり医療費が大きくなっている。
- 医科・歯科・調剤別での医療費推移では、すべてで増加傾向にある。
- 生活習慣病の重症化などによって1人あたり医療費が増加することを抑制するため、引き続き、生活習慣病重症化予防に対する取り組みが必要である。

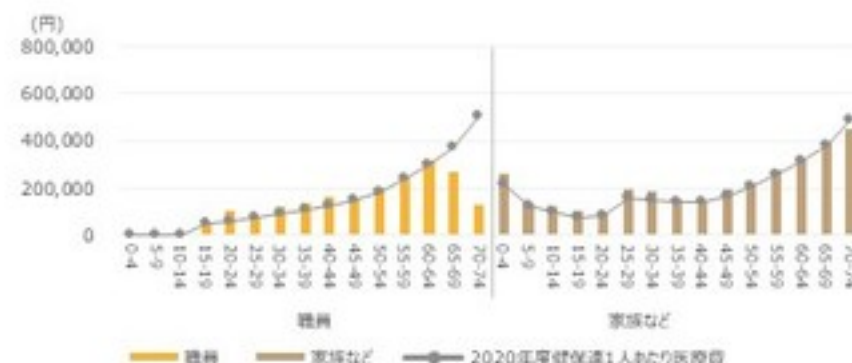
1. 医療費の推移（2018-2022）



2. 医科・歯科・調剤医療費の推移（2018-2022）

	医療費内訳					
	医科	私家療費に占める割合	歯科	私家療費に占める割合	調剤	私家療費に占める割合
2022	4,762.6 百万円	67.0%	929.0 百万円	13.1%	1,415.3 百万円	19.9%
2021	4,607.9 百万円	66.7%	944.6 百万円	13.7%	1,359.7 百万円	19.7%
2020	4,410.4 百万円	66.2%	926.9 百万円	13.9%	1,328.9 百万円	19.9%
2019	4,698.3 百万円	66.9%	914.1 百万円	13.0%	1,406.7 百万円	20.0%
2018	4,392.8 百万円	67.6%	838.4 百万円	12.9%	1,264.4 百万円	19.5%
2018-2022 の変化	1.02 倍		1.03 倍		1.03 倍	

3. 加入者区分年齢階級別1人あたり医療費と健保連比較（2022）



4. 性・年齢階級別 医療費の内訳（2022）



基本分析：医療費の概要（2）

- 2022年度の医療費総額は7,106.9百万円、そのうち最も医療費がかかった疾患は、歯科で総医療費の13.1%を占める。2020年度からの推移を見ても、歯科が医療費のトップであり、重点的に対応すべき課題の一つであると言える。
- 性・年代別の内訳では、男性の50歳台以降で生活習慣病に代表される循環器系医療費が上位を占める。女性の40歳台以降では新生物が上位を占める。
- 男性の生活習慣病対策、女性では婦人科のがん検診の強化、精密検査対象者の受診率の向上などの対策が必要である。
- 2022年度の前期高齢者医療費は219.5百万円で、総医療費の3.1%を占める。
- 前期高齢者納付金にも関連する指標である前期高齢者1人あたり医療費は全国平均より低いが増加傾向にある。前期高齢者になる前に健康意識の向上や適切な受診等を促すことで、前期高齢者の医療費を抑制していく。

1. ICD-10 22分類+歯科の上位8疾患医療費推移（2020-2022）

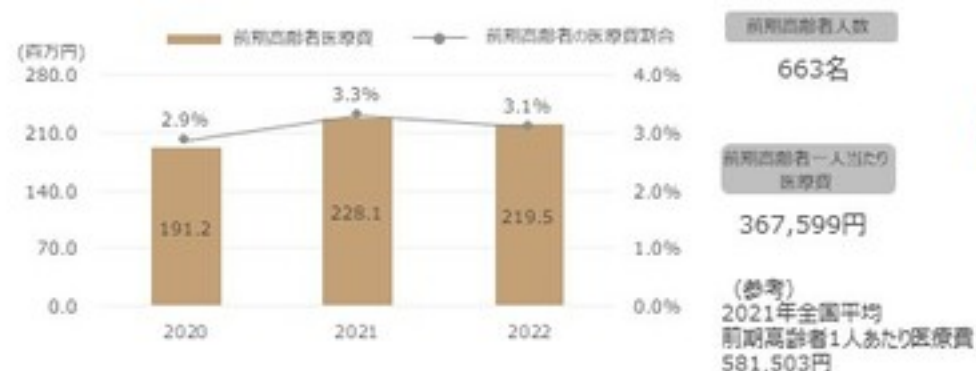


2. 性・年代別 医療費がかかっている疾患の変化（2021-2022）

男性

		0歳台	10歳台	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台
1位	2022	呼吸器系	呼吸器系	歯科	歯科	代謝系	循環器系	循環器系	代謝系
		33.6%	20.0%	15.3%	21.9%	15.1%	16.9%	24.9%	38.7%
	2021	呼吸器系	呼吸器系	歯科	歯科	代謝系	循環器系	循環器系	新生物
		31.5%	15.6%	18.1%	22.3%	15.6%	17.4%	21.9%	57.1%
2位	2022	歯科	歯科	血液系	呼吸器系	歯科	新生物	新生物	循環器系
		9.4%	15.0%	13.2%	12.2%	14.8%	13.9%	16.6%	38.6%
	2021	歯科	歯科	呼吸器系	呼吸器系	歯科	代謝系	新生物	循環器系
		11.1%	13.0%	12.6%	10.0%	15.1%	15.3%	16.0%	10.2%

3. 前期高齢者医療費の推移（2020-2022）



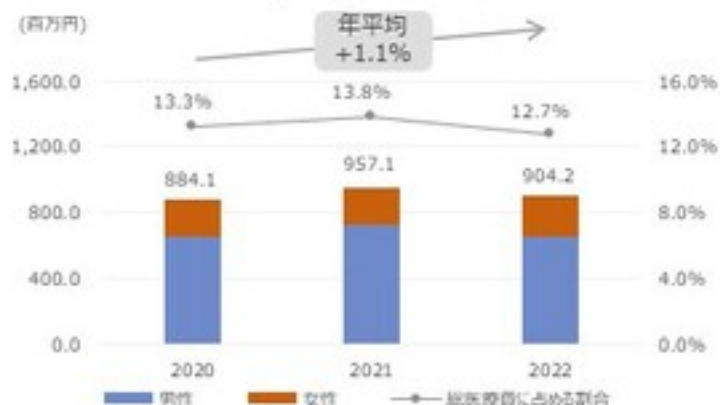
女性

		0歳台	10歳台	20歳台	30歳台	40歳台	50歳台	60歳台	70歳台
1位	2022	呼吸器系	呼吸器系	歯科	呼吸器系	新生物	新生物	新生物	筋骨格系
		32.7%	18.0%	17.3%	14.9%	22.6%	24.2%	23.9%	18.3%
	2021	呼吸器系	歯科	歯科	歯科	新生物	新生物	新生物	循環器系
		31.8%	19.0%	19.2%	17.3%	22.2%	25.5%	22.9%	22.6%
2位	2022	歯科	歯科	呼吸器系	歯科	歯科	歯科	筋骨格系	新生物
		11.5%	17.0%	10.3%	14.0%	15.4%	13.1%	15.1%	15.3%
	2021	歯科	呼吸器系	皮膚系	妊娠関連	歯科	歯科	筋骨格系	新生物
		14.6%	14.2%	9.4%	16.8%	16.4%	12.7%	12.3%	20.3%

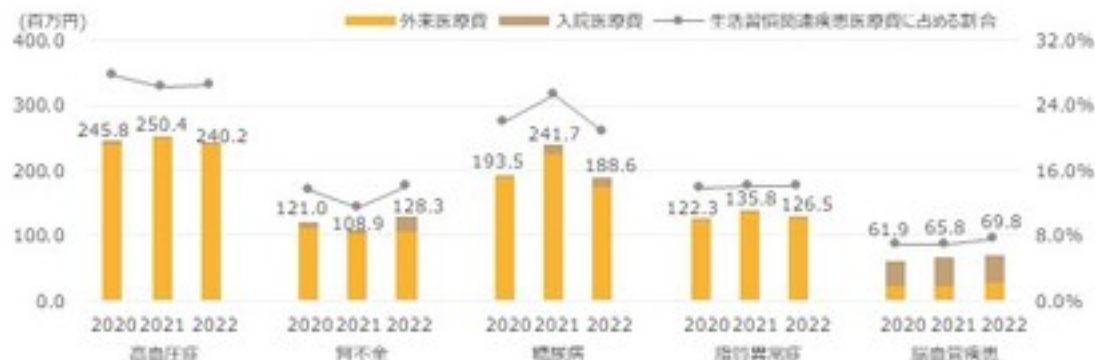
基本分析：生活習慣関連疾患医療費

- 2022年度の生活習慣関連疾患医療費は904.2百万円で、総医療費の12.7%を占める。生活習慣関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均1.1%で増加している。
- 2020年度から2022年度にかけて生活習慣関連疾患1人あたり医療費は増加、レセプト発生率も増加している。
- 主な生活習慣関連疾患の内訳では、高血圧症の医療費割合が最も高い。3年間で総医療費が最も増加したのは脳血管疾患であった。生活習慣関連疾患の重症化による1人当たり医療費の増加を抑制し、加入者の生活の質（QOL）の維持に向けた取り組みが重要である。
- 性・年齢階級別では、男性の40歳から生活習慣関連疾患医療費の割合が高くなっている。当組合では男性加入者が多い（男女比率は52：48）ことから、特定健診後の特定保健指導、リスクがある方への医療機関への受診勧奨は重点的に実施していく事業であると言える。

1. 生活習慣関連疾患医療費の推移（2020-2022）



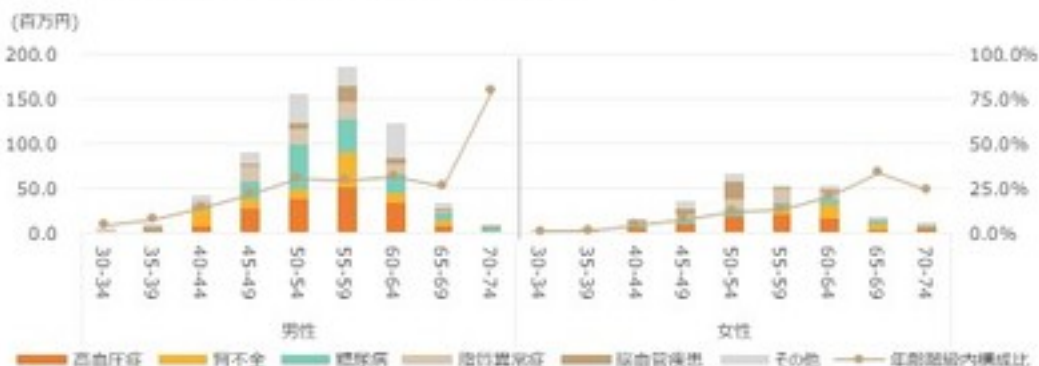
2. 主な生活習慣関連疾患の内訳（2020-2022）



2. 生活習慣関連疾患1人あたり医療費とレセプト発生率（2020-2022）



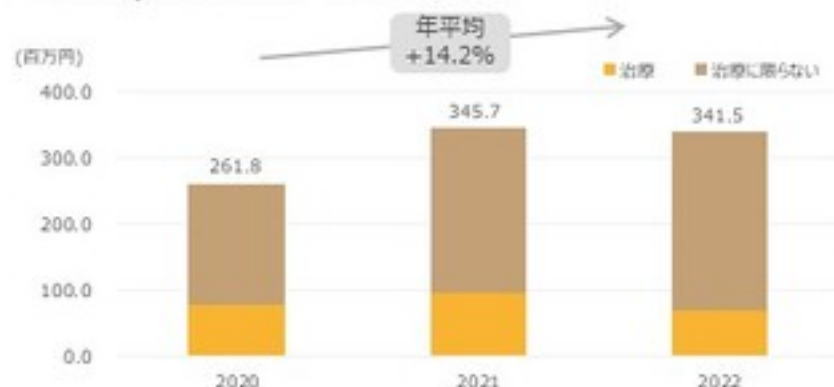
3. 性・年齢階級別 生活習慣関連疾患医療費（2022）



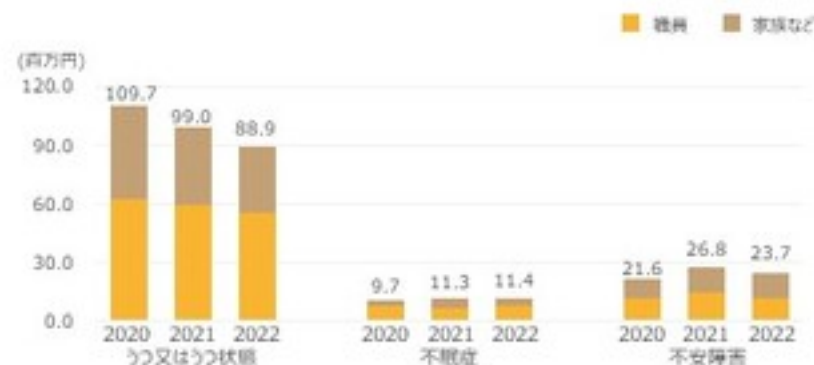
基本分析：がん、メンタル関連疾患医療費

- 2022年度の6大がん医療費は341.5百万円で、総医療費の4.8%を占める。6大がん医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均14.2%で増加している。
- 6大がん医療費の内訳では乳がんが医療費の割合が最も高い。女性に特徴的な疾患として、引き続き事業所と連携しがん検診の実施、市町村のがん検診の案内等の周知を進め、がんの早期発見のための事業を実施する。現在状況が把握できていない精密検査対象者への受診勧奨については第3期期間に対応を検討する。
- メンタル関連疾患医療費は123.8百万円で総医療費の1.7%を占める。メンタル関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均5.6%で減少しており、うつ又はうつ状態の医療費が最も高い。
- 性・年齢階級別では、男性職員では55歳-59歳、女性職員では25歳-29歳で、メンタル関連疾患レセプトの発生率が5～6%台で推移しており、他の年代に比べてレセプト発生率がやや高くなっている。

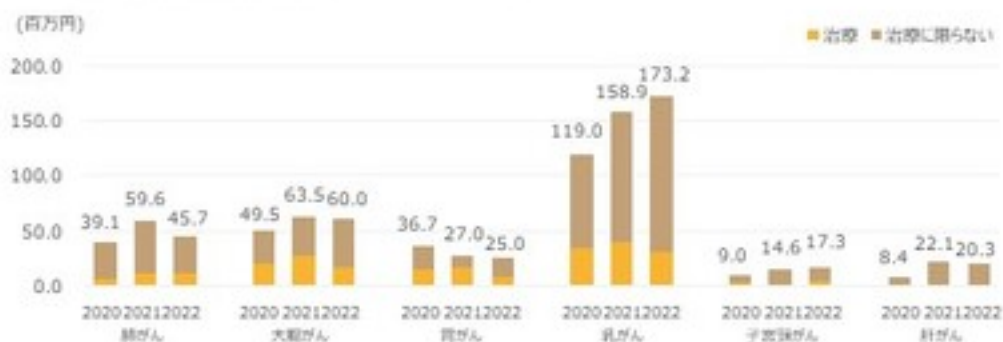
1. 6大がん医療費の推移 (2020-2022)



3. メンタル関連疾患医療費の推移 (2020-2022)



2. 6大がん医療費の内訳 (2020-2022)



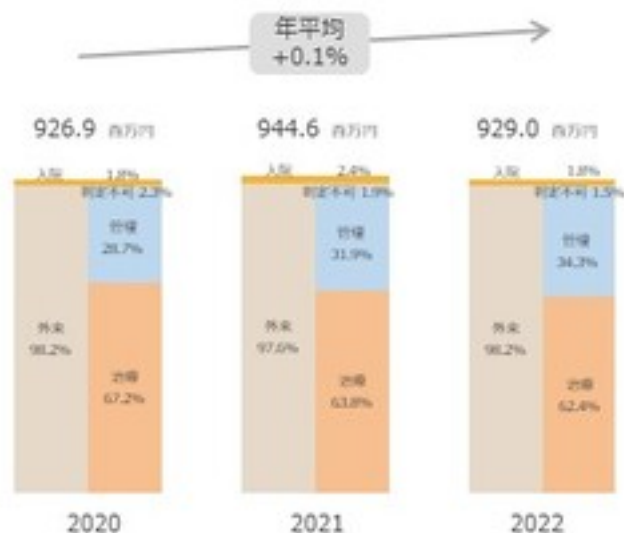
4. 性・年齢階級別 メンタル関連疾患レセプト発生者と発生率 (2022)



基本分析：歯科医療費

- 2022年度の歯科医療費は929.0百万円で総医療費の13.1%を占める。歯科医療費は総医療費の中で最も大きい割合を占める疾患であり、当組合でも対策を実施してきたが、引き続き強化が必要な疾患である。
- 歯科レセプト発生率は、51.0%と、2020年度から2022年度にかけて50%前後で推移している。歯科対策として、年に1回以上歯科を受診する方を増やすための取り組みを継続していく。
- 歯科外来医療費のうち、治療の割合は3年間で減少傾向にあり、管理（歯石の除去などのメンテナンス）医療費割合が増加している。
- 歯科未受診者のうち、歯科を受診しないことで全身の疾患が重症化するリスクがある方は延べ1,239名であった。全身の疾患と歯科の関係性などに関する啓発、歯科への受診が必要な方への受診勧奨も重要な取り組みであると考えられる。

1. 歯科医療費の推移（2020-2022）



		2020	2021	2022
歯科管理医療費(百万円)		265.8	301.7	318.4
歯科治療医療費(百万円)		639.6	624.6	596.6
レセプト発生率		47.2%	50.5%	51.0%
1人あたり医療費(円)	歯科			
	管理	17,215	18,675	19,249
	治療	37,705	38,514	38,009

2. 歯科未受診者における全身疾患リスク保有者の数（2022）



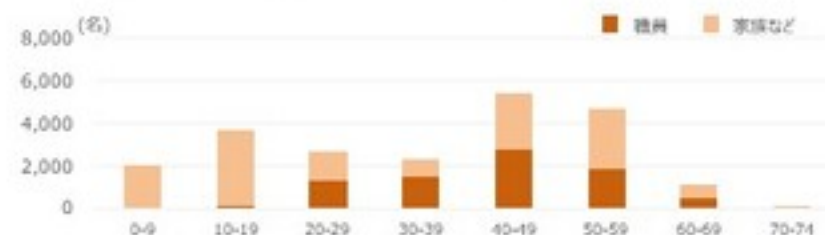
基本分析：ジェネリック医薬品の普及状況、女性に特徴的な疾患の医療費

- 2022年度のジェネリック数量シェアは82.4%で、2022年度末時点の国の目標値である80%を達成、過去5年間で年平均1.7%pt増加している。
- 2022年度、女性加入者にかかった医療費は3,469.7百万円で総医療費の48.8%を占める。そのうち、女性に特徴的な疾患の医療費は581.2百万円であった。
- 当組合では職員の女性比率は低い、家族などで女性加入者が多くを占めており、40歳台、50歳台が多い。女性に特徴的な疾患として、がんや妊娠関連の傷病、早産などが発生しており、早期から女性の健康課題に対しての啓発を進めるとともに、女性だけでなく男性にも女性の疾患に関する知識の啓発を行い、女性特有の健康課題に悩む方が早期に受診ができる環境を整備していくことが重要である。

1. ジェネリック医薬品使用による置き換え可能額と数量シェア*1の推移 (2018-2022)



2. 女性加入者の年代別人数内訳 (2022)



3. 女性に特徴的な疾患の医療費と1人あたり医療費の推移 (2018-2022)



基本分析：特定健診、特定保健指導

- 2022年度の特定健診受診者は17,890名*1、受診率は83.4%で、国の目標値である90%には未達であった。被扶養者の受診率は2020年度の50.4%から2.1%pt増加し52.5%となっている。
- 2022年度の特定保健指導実施者数は1,300名、実施率は38.5%であった。2020年度に比べて26.7%pt増加しているものの、国の目標値である55%には未達であった。目標値までは16.5%pt（558名）である。
- 特定保健指導対象者の割合は、2022年度18.9%（健保連平均：18.3%）と2020年から2022年にかけて減少している。2024年度以降は、健診前にダイエットを促す取り組み等を行い、引き続き対象者を未然に減らす取り組みを継続する。

1. 特定健診受診者数の推移（2020-2022）



	2020	2021	2022
対象者数（被保険者・組合員）	15,845	15,874	15,965
対象者数（被扶養者）	5,944	5,790	5,479
受診者数（被保険者・組合員）	15,062	14,807	15,011
受診者数（被扶養者）	2,993	3,135	2,879
対象者数（合計）	21,789	21,664	21,444
受診者数（合計）	18,055	17,942	17,890
特定健診受診率（被保険者・組合員）	95.1%	93.3%	94.0%
特定健診受診率（被扶養者）	50.4%	54.1%	52.5%
特定健診受診率（合計）	82.9%	82.8%	83.4%

2. 特定保健指導受診率の推移（2020-2022）



	2020	2021	2022
対象者数（被保険者・組合員）	3,529	3,172	3,149
対象者数（被扶養者）	247	252	229
終了者数（被保険者・組合員）	447	910	1,290
終了者数（被扶養者）	0	16	10
特定保健指導実施率（被保険者・組合員）	12.7%	28.7%	41.0%
特定保健指導実施率（被扶養者）	0.0%	6.3%	4.4%
特定保健指導実施率（合計）	11.8%	27.0%	38.5%

基本分析：特定健康診査から見えるリスク者の状況

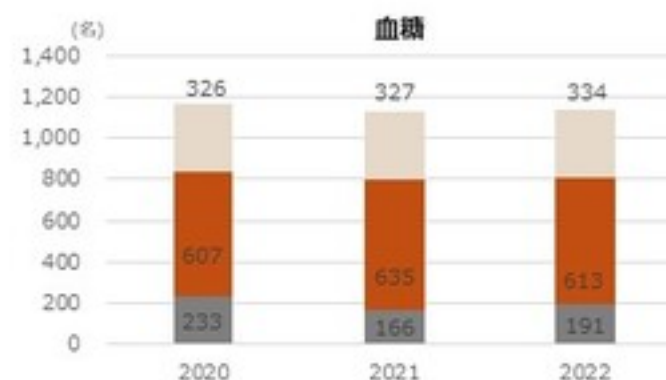
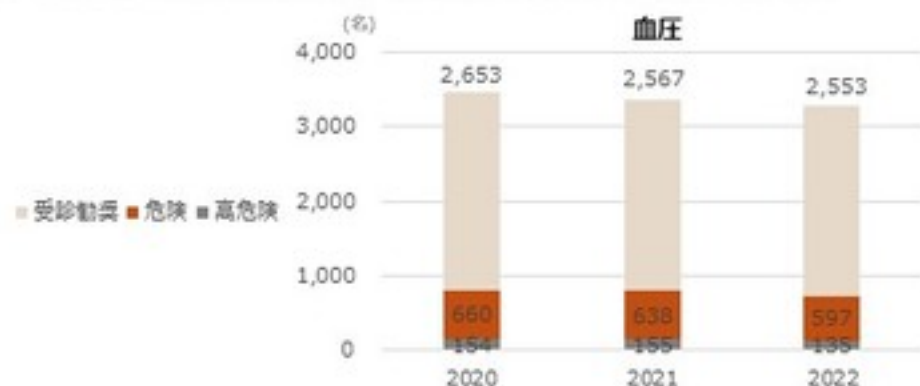
- 2022年度の健診受診者22,824名のうち、リスク者の割合は52.0%で、3年間で年平均0.1%pt減少している。
- 肥満リスク者は2020年度から2022年度にかけて年平均1.7%減少、やせリスク者は2.4%増加している。女性のやせに関する取り組みに関しても、事業所との連携により情報発信等を進めていく。
- 血圧・血糖・脂質・腎機能リスクでは、腎機能リスクでリスク者が増加している。生活習慣病の重症化予防として、医療機関への受診勧奨を実施しており、引き続き、ハイリスクの方のヘアアプローチとして受診勧奨を実施していく。

1. リスク者とリスク者割合の推移（2020-2022）

*1 肥満、やせ、血圧、血糖、脂質のいずれかのリスクがある方。血圧、血糖、脂質は受診勧奨レベル以上のリスク。*2 受診勧奨レベル以上のリスク保有者を対象としています。

健診受診者		リスク保有者割合 ^{*1}	生活習慣系リスク			疾患系リスク ^{*2}			
			肥満	やせ	喫煙	血圧	血糖	脂質	腎機能
2022	22,824名	52.0%	8,222名 36.0%	1,984名 8.7%	4,541名 19.9%	3,285名 14.4%	1,138名 5.0%	723名 3.2%	828名 3.6%
2021	23,695名	50.7%	8,321名 35.1%	1,976名 8.3%	4,641名 19.6%	3,360名 14.2%	1,128名 4.8%	720名 3.0%	761名 3.2%
2020	23,438名	52.2%	8,516名 36.3%	1,850名 7.9%	4,777名 20.4%	3,467名 14.8%	1,166名 5.0%	787名 3.4%	775名 3.3%
人数の 年平均 変化	-1.3%	-0.1%	-1.7%	+2.4	-2.5%	-2.7%	-1.2%	-4.2%	+3.4%

2. 血圧・血糖リスク者のリスクレベル別リスク者の内訳（2020-2022）



健康課題の整理

ここまでの分析結果をもとに、当組合での課題と対策を以下のように整理する。

- 2022年度の年間総医療費は7,106.9百万円、5年間で年平均2.3%増加している。加入者1人あたり医療費が5年間で年平均4.3%増加していることが主な医療費変化の要因と考えられる。

- 2022年度の生活習慣関連疾患医療費は904.2百万円で、総医療費の12.7%を占める。生活習慣関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均1.1%で増加している。
- 当組合は男性加入者が多く、年齢では45-49歳が男性全体の13.1%を占めている。

- 2022年度の歯科医療費は929.0百万円で総医療費の13.1%を占め、歯科医療費は総医療費の中で最も大きい割合を占める疾患である。
- 歯科外来医療費のうち、治療の割合は3年間で減少傾向にあり、管理（歯石の除去などのメンテナンス）医療費割合が増加している。

- 2022年度の特定健診受診率は83.4%、特定保健指導実施者実施率は38.5%で、国の目標値である55%には未達であった。
- 特定保健指導対象者の割合は、2022年度18.9%で、2020年から2022年にかけて減少している。

- 2022年度の健診受診者22,824名のうち、リスク者の割合は52.0%で、3年間で年平均0.1%pt減少している。
- 肥満リスク者は2020年度から2022年度にかけて年平均1.7%減少、やせリスク者は2.4%増加している。
- 血圧・血糖・脂質・腎機能リスクでは、腎機能でリスク者が増加している。

- 生活習慣病の重症化などによって1人あたり医療費が増加することを抑制するため、引き続き、生活習慣病重症化予防に対する取り組みが必要である。

- 特定健診後の特定保健指導、リスクがある方への医療機関への受診勧奨を重点的に実施していく。

- むし歯や歯周病になる前に定期的に管理管理（歯石の除去などのメンテナンス）を目的とした受診をする方を増やすための啓発を継続し、歯科への受診が必要な方への受診勧奨を実施する。

- 特に被扶養者の健診受診率を向上させるため、事業所とも連携し働きかけを強化、特定保健指導に関しては、実施プログラムの見直しを行い、プログラムを充実させるなどの対策を強化し、実施率向上を目指す。
- 健診前に痩せてもらうことを目的とした施策を実施し、未然に特定保健指導対象者を減らす取り組みを行う。

- 女性のやせなど新たな領域に関しても加入者への情報提供を行い、リテラシー向上に取り組む。
- 引き続き、ハイリスクかつ未受診の方へのアプローチとして受診勧奨を実施していく。

第3期データヘルス計画で実施する保健事業の実施計画

- 当組合では、前述した課題への対応として、第3期データヘルス計画の期間である2024年度（令和6年度）～2029年度（令和11年度）までの6年間、主に以下の取り組みを強化し保健事業を実施します

表：第3期データヘルス期間で取り組む主な保健事業

No	事業名称	対象者・対象事業所	実施内容	第2期からの変更点等	アウトプット・アウトカム
1	特定健診	40～74歳 - 全事業所 - 被保険者、被扶養者	被保険者は事業主が実施した定期健診結果を受領する。被扶養者は健保が特定健診として実施する。	なし。ただし、事業所からの働きかけや被扶養者への未受診者勧奨を引き続き強化する。	アウトプット：健診受診率 アウトカム：リスク保有者率
2	特定保健指導	40～74歳 - 全事業所 - 被保険者、被扶養者	事業所保健師または外部委託にて実施する。未参加者には参加勧奨を行う。	なし。ただし、事業所からの働きかけや被扶養者への未受診者勧奨を引き続き強化する。	アウトプット：特定保健指導実施率 アウトカム：脱肥満率
3	婦人科健診受診者への補助	20～74歳 - 全事業所 - 被保険者、被扶養者	契約医療機関を利用し一部負担金で受診、または契約医療機関以外を利用した場合は、補助金を支給	なし。ただし、事業所からの働きかけや被扶養者への未受診者勧奨を引き続き強化する。	アウトプット：女性加入者の受診率 アウトカム：設定なし
4	重症化予防事業	18～74歳 - 全事業所 - 被保険者、被扶養者	健診結果から早急に受診が必要な対象者を把握、受診勧奨ならびに継続受診の追跡を実施	なし。継続受診者100%に近づけるよう重症化により発生する疾病0（ゼロ）を目標に活動を継続する。	アウトプット：医療機関の受診率 アウトカム：3疾患（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）のコントロール割合
5	歯科受診勧奨（重症化予防）	0～上限なし - 全事業所 - 被保険者、被扶養者	糖尿病・心疾患のリスクがある方へ歯科への受診勧奨を実施	新たに全事業所での実施を検討。	アウトプット：対象者の歯科受診率 アウトカム：設定なし
6	ヘルスクエア研修	18～74歳 - 全事業所 - 被保険者、被扶養者	健康経営推進のため喫煙・睡眠・歯科・女性の健康などのテーマを設定し、オンラインセミナーを開催	新たに全事業所での実施を検討。	アウトプット：参加人数 アウトカム：設定なし

アウトプット：目的・目標の達成のために行われる事業の結果に対する評価で、評価指標としては、健診受診率、保健指導実施率、保健指導の継続率などがある

アウトカム：事業の目的・目標の達成度、また、成果の数値目標に対する評価である。具体的な評価指標としては、肥満度や血液検査などの健診結果の変化、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群、死亡率、要介護率、医療費の変化などがある

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ, ウ	2022年度の年間総医療費は7,106.9百万円、5年間で年平均2.3%増加している。加入者1人あたり医療費が5年間で年平均4.3%増加していることが主な医療費変化の要因と考えられる。	➡	生活習慣病の重症化などによって1人あたり医療費が増加することを抑制するため、引き続き、生活習慣病重症化予防に対する取り組みが必要である。	✓
2	エ	2022年度の生活習慣関連疾患医療費は904.2百万円で、総医療費の12.7%を占める。生活習慣関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均1.1%で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢では45-49歳が男性全体の13.1%を占めている。	➡	特定健診後の特定保健指導、リスクがある方への医療機関への受診勧奨を重点的に実施していく。	✓
3	カ	2022年度の歯科医療費は929.0百万円で総医療費の13.1%を占め、歯科医療費は総医療費の中で最も大きい割合を占める疾患である。 歯科外来医療費のうち、治療の割合は3年間で減少傾向にあり、管理（歯石の除去などのメンテナンス）医療費割合が増加している。	➡	むし歯や歯周病になる前に定期的に管理管理（歯石の除去などのメンテナンス）を目的とした受診をする方を増やすための啓発を継続し、歯科への受診が必要な方への受診勧奨を実施する。	✓
4	ク	2022年度の特定健診受診率は83.4%、特定保健指導実施率38.5%で、国の目標値である55%には未達であった。 特定保健指導対象者の割合は、2022年度18.9%で、2020年から2022年にかけて減少している。	➡	特に被扶養者の健診受診率を向上させるため、事業所とも連携し働きかけを強化、特定保健指導に関しては、実施プログラムの見直しを行い、プログラムを充実させるなどの対策を強化し、実施率向上を目指す。 健診前に痩せてもらうことを目的とした施策を実施し、未然に特定保健指導対象者を減らす取り組みを行う。	✓
5	ケ	2022年度の健診受診者22,824名のうち、リスク者の割合は52.0%で、3年間で年平均0.1pt減少している。 肥満リスク者は2020年度から2022年度にかけて年平均1.7%減少、やせリスク者は2.4%増加している。 血圧・血糖・脂質・腎機能リスクでは、腎機能でリスク者が増加している。	➡	女性のやせなど新たな領域に関しても加入者への情報提供を行い、リテラシー向上に取り組む。 引き続き、ハイリスクかつ未受診の方へのアプローチとして受診勧奨を実施していく。	✓

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	2022年度の加入者数は43,143名、2018年度に比べて年平均2.6%で減少しているが、全国の単一健保の中では大規模健保であり加入者数が多く、加入事業所も17事業所と複数の事業所が加入している 加入者構成の特徴として、男性では45-49歳が男性全体の13.1%と最も多く、女性では45-49歳が女性全体の14.0%と最も多くなっている。 主な加入事業所の業態は、「製造業」「卸売業」からなり、事務所や工場などの勤務がある。	➡	・加入者の多くを占める株式会社LIXILへの働きかけが重要。 ・事業所のヘルスケアグループとの協働体制を強化する。 ・職種、事業所の特徴を捉え、それに合わせた対策を考える。 ・被保険者の7割を占める男性の健康度向上が全体に与える影響が大きい。 ・対策は、該当者の多い年齢層が取り組みやすい内容を主体に考える。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
-----	----	--	--------------

1 個人の特性に合わせた対策は根付いてきているが、加入者全体の健康度を上げるためのポピュレーションアプローチ対策が弱い



健康課題にある歯科、肥満、生活習慣病などの正常値割合が増やすために有効なポピュレーションアプローチ対策を検討し、実施を目指す

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 特定健診、特定保健指導の実施率低迷の原因を分析し、有効な方策を実施し、実施率の向上、維持を目指す	事業全体の目標 特定健診は実施率70.0%(平成35年度全保険者目標)を維持する 特定保健指導は実施率10.0%以上を維持する
--	--

事業の一覧		
職場環境の整備		
加入者への意識づけ		
個別の事業		
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）	
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）	
特定保健指導事業	特定保健指導	
特定保健指導事業	若年層への特定保健指導	
疾病予防	精密検査受診勧奨	
疾病予防	糖尿病腎症等の生活習慣病の重症予防プログラム	
疾病予防	シニア向けセミナー	
疾病予防	後発医薬品差額通知	
疾病予防	高齢者訪問健康指導	
疾病予防	がん検診	
疾病予防	歯科受診勧奨	
疾病予防	インフルエンザ予防接種	
疾病予防	健康ウォーク	
疾病予防	健康づくりキャンペーン	
疾病予防	禁煙サポート	
疾病予防	こころとからだのサポート窓口（法研）	
疾病予防	健保保健師による健康相談等	
疾病予防	健診前ちょこっとダイエット	
疾病予防	ヘルスケア研修	
疾病予防	各種セミナー	
疾病予防	常備薬配布	
予算措置なし	スポーツジム法人契約利用	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
職場環境の整備																					
加入者への意識づけ																					
個別の事業																					
特定健康診査事業	3	既存（法定）	特定健診（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	3	サ,ス	まとまった人数の勤務者がいる拠点では健診車による巡回健診、少人数の拠点の場合は事業所の指定する近隣の医療機関を利用、40歳以上の者については、巡回健診等の代わりに人間ドックを選択して受診することが可能	ア,イ,カ	事業主との共同事業として実施 人間ドックは健保組合が独自で行う事業	-	-	-	-	-	-	法令に基づいた加入者への健康診断受診機会の提供 加入者の健康状態の把握	2022年度の特定健診受診率は83.4％、特定保健指導実施者実施率は38.5％で、国の目標値である55％には未達であった。 特定保健指導対象者の割合は、2022年度18.9％で、2020年から2022年にかけて減少している。	
													-	-	-	-	-	-			
	実施率（全体）（【実績値】84.7％ 【目標値】令和6年度：86.1％ 令和7年度：87.3％ 令和8年度：88.6％ 令和9年度：89.9％ 令和10年度：89.9％ 令和11年度：91.4％)-												(高血圧症)疾患予備群の状態コントロール割合－高血圧症(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：75.5％ 令和7年度：76.0％ 令和8年度：76.5％ 令和9年度：77.0％ 令和10年度：77.5％ 令和11年度：78.0％)-								
	実施率（被保険者）（【実績値】93.7％ 【目標値】令和6年度：95.0％ 令和7年度：95.0％ 令和8年度：95.0％ 令和9年度：95.0％ 令和10年度：95.0％ 令和11年度：95.0％)-												(糖尿病)疾患予備群の状態コントロール割合－糖尿病(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：96.9％ 令和7年度：97.1％ 令和8年度：97.3％ 令和9年度：97.5％ 令和10年度：97.7％ 令和11年度：97.9％)-								
	-												(脂質異常症)疾患予備群の状態コントロール割合－脂質異常症(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：75.5％ 令和7年度：76.0％ 令和8年度：76.5％ 令和9年度：77.0％ 令和10年度：77.5％ 令和11年度：78.0％)-								
	3	既存（法定）	特定健診（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	サ,ス	主婦健診協議会の行う家族健診や、近隣の医療機関の利用、40歳以上は人間ドックの利用も可能	ア,イ,カ	健保組合の保健事業として実施	-	-	-	-	-	-	法令に基づいた加入者への健康診断受診機会の提供 加入者の健康状態の把握	2022年度の特定健診受診率は83.4％、特定保健指導実施者実施率は38.5％で、国の目標値である55％には未達であった。 特定保健指導対象者の割合は、2022年度18.9％で、2020年から2022年にかけて減少している。	
-													-	-	-	-	-				
実施率（全体）（【実績値】84.7％ 【目標値】令和6年度：86.1％ 令和7年度：87.3％ 令和8年度：88.6％ 令和9年度：89.9％ 令和10年度：89.9％ 令和11年度：91.4％)-												(高血圧症)疾患予備群の状態コントロール割合－高血圧症(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：75.5％ 令和7年度：76.0％ 令和8年度：76.5％ 令和9年度：77.0％ 令和10年度：77.5％ 令和11年度：78.0％)-									
実施率（被扶養者）（【実績値】58.1％ 【目標値】令和6年度：60.0％ 令和7年度：65.0％ 令和8年度：70.0％ 令和9年度：75.0％ 令和10年度：75.0％ 令和11年度：81.0％)-												(糖尿病)疾患予備群の状態コントロール割合－糖尿病(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：96.9％ 令和7年度：97.1％ 令和8年度：97.3％ 令和9年度：97.5％ 令和10年度：97.7％ 令和11年度：97.9％)-									
-												(脂質異常症)疾患予備群の状態コントロール割合－脂質異常症(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：75.5％ 令和7年度：76.0％ 令和8年度：76.5％ 令和9年度：77.0％ 令和10年度：77.5％ 令和11年度：78.0％)-									
特定保健指導事業		4	既存（法定）	特定保健指導	全て	男女	40～59	被保険者,被扶養者	3	ケ	外部機関へ業務を委託し実施 初回面談は対面またはオンラインにて実施	ア	被保険者は事業所との共同事業として実施 被扶養者は自宅へ案内を送付し申込した対象者へ実施	-	-	-	-	-	-	メタボリックシンドローム解消・動脈硬化性疾患の予防	2022年度の特定健診受診率は83.4％、特定保健指導実施者実施率は38.5％で、国の目標値である55％には未達であった。 特定保健指導対象者の割合は、2022年度18.9％で、2020年から2022年にかけて減少している。
	-													-	-	-	-	-			
	実施率（全体）（【実績値】60.6％ 【目標値】令和6年度：60.0％ 令和7年度：60.0％ 令和8年度：60.3％ 令和9年度：60.7％ 令和10年度：61.0％ 令和11年度：61.7％)-												肥満解消率(【実績値】11.0％ 【目標値】令和6年度：10.0％ 令和7年度：10.0％ 令和8年度：10.0％ 令和9年度：10.0％ 令和10年度：10.0％ 令和11年度：10.0％)-								
	実施率（被保険者）（【実績値】64.9％ 【目標値】令和6年度：64.0％ 令和7年度：64.0％ 令和8年度：64.0％ 令和9年度：64.0％ 令和10年度：64.0％ 令和11年度：64.0％)-																				
	実施率（被扶養者）（【実績値】0.9％ 【目標値】令和6年度：5.0％ 令和7年度：5.0％ 令和8年度：10.0％ 令和9年度：15.0％ 令和10年度：20.0％ 令和11年度：30.0％)-																				
	4	新規	若年層への特定保健指導	全て	男女	35～39	被保険者	3	ケ	外部機関へ業務を委託し実施 初回面談は対面またはオンラインにて実施	ア	事業所との共同事業として実施	-	-	-	-	-	-	メタボリックシンドローム解消・動脈硬化性疾患の予防	2022年度の生活習慣関連疾患医療費は904.2百万円で、総医療費の12.7％を占める。生活習慣関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均1.1％で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢では45-49歳が男性全体の13.1％を占めている。 2022年度の健診受診者22,824名のうち、リスク者の割合は52.0％で、3年間で年平均0.1%pt減少している。 肥満リスク者は 2020年度から2022年度にかけて年平均1.7％減少、やせリスク者は2.4％増加している。 血圧・血糖・脂質・腎機能リスクでは、腎機能でリスク者が増加している。	
-													-	-	-	-	-				
実施率(【実績値】69.2％ 【目標値】令和6年度：60.0％ 令和7年度：60.0％ 令和8年度：60.0％ 令和9年度：60.0％ 令和10年度：60.0％ 令和11年度：60.0％)-												肥満解消率(【実績値】11.0％ 【目標値】令和6年度：10.0％ 令和7年度：10.0％ 令和8年度：10.0％ 令和9年度：10.0％ 令和10年度：10.0％ 令和11年度：10.0％)-									

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連				
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度						
疾病 予防	アウトプット指標												アウトカム指標											
	4	新規	精密検査受診 勤奨	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	イ,オ,ク	健康診断結果から医療機 関受診が必要な対象者へ 受診勤奨を行う	ア,イ,ケ	事業所の健診担当と連携 しながら健保 保健師が主 体となり実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	疾病の早期発見・早期治療および重症化防 止	2022年度の年間総医療費は7,106.9 百万円、5年間で年平均2.3%増加 している。加入者1人あたり医療費 が5年間で年平均4.3%増加してい ることが主な医療費変化の要因と 考えられる。 2022年度の生活習慣関連疾患医療 費は904.2百万円で、総医療費の .7%を占める。生活習慣関連疾患医 療費は2020年度から2022年度にか けて年平均1.1%で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢 では45-49歳が男性全体の13.1%を 占めている。 2022年度の健診受診者22,824名の うち、リスク者の割合は52.0%で 、3年間で年平均0.1%pt減少して いる。 肥満リスク者は 2020年度から2022 年度にかけて年平均1.7%減少、や せリスク者は2.4%増加している。 血圧・血糖・脂質・腎機能リスク では、腎機能でリスク者が増加し ている。				
	医療機関受診率（全体）(【実績値】 75.0% 【目標値】 令和6年度：75.0% 令和7年度：75.0% 令和8年度：75.0% 令和9年度：75.0% 令和10年度：75.0% 令和11年度：75.0%)-												(高血圧症)疾患群の病態コントロール割合ー高血圧症(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：56.0% 令和7年度：57.0% 令和8年度：58.0% 令和9年度：59.0% 令和10年度：60.0% 令和11年度：61.0%)-											
	速やかに受診を要する者の受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：75.0% 令和7年度：75.0% 令和8年度：75.0% 令和9年度：75.0% 令和10年度：75.0% 令和11年度：75.0%)-												(糖尿病)疾患群の病態コントロール割合ー糖尿病(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：29.0% 令和7年度：29.5% 令和8年度：30.0% 令和9年度：30.5% 令和10年度：31.0% 令和11年度：31.5%)-											
	受診必須者の受診率(【実績値】 82.0% 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：88.0% 令和8年度：92.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：98.0% 令和11年度：99.0%)-												(脂質異常症)疾患群の病態コントロール割合ー脂質異常症(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：46.0% 令和7年度：47.0% 令和8年度：48.0% 令和9年度：49.0% 令和10年度：50.0% 令和11年度：51.0%)-											
	4	既存	糖尿病腎症等 の生活習慣病 の重症予防プ ログラム	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	イ	健診結果から早急に受診 が必要な対象者を把握、 受診勤奨ならびに継続受 診の追跡を実施	ア	事業所の健診担当と連携 しながら健保 保健師が主 体となり実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	糖尿病合併症の予防	2022年度の年間総医療費は7,106.9 百万円、5年間で年平均2.3%増加 している。加入者1人あたり医療費 が5年間で年平均4.3%増加してい ることが主な医療費変化の要因と 考えられる。 2022年度の生活習慣関連疾患医療 費は904.2百万円で、総医療費の12 .7%を占める。生活習慣関連疾患医 療費は2020年度から2022年度にか けて年平均1.1%で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢 では45-49歳が男性全体の13.1%を 占めている。				
	実施率(【実績値】 66.7% 【目標値】 令和6年度：70.0% 令和7年度：70.0% 令和8年度：70.0% 令和9年度：70.0% 令和10年度：70.0% 令和11年度：70.0%)-												検査結果改善率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：35.0% 令和7年度：35.0% 令和8年度：35.0% 令和9年度：35.0% 令和10年度：35.0% 令和11年度：35.0%)-											
	5	既存	シニア向けセ ミナー	全て	男女	59 ～ 59	被保険 者	3	ク	対面・オンライン等によ る講話	ア,オ,ケ	事業所の行う退職者向け セミナーのひとつのメニ ューとして実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	PHRの一環として60歳以降の健康管理に関 する情報鄭居を行う 65歳定年退職後の健康管理を自治体へつな ぐことを目的とした情報提供を行う	該当なし				
	実施回数(【実績値】 3回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												検証方法が確立できていないため (アウトカムは設定されていません)											
	7	既存	後発医薬品差 額通知	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	対象者個人の使用する薬 剤を後発医薬品へ変更し た場合の差額を個別に通 知	シ	健保組合の事業として実 施 対象者の抽出、通知書発 送は外部委託	継続	継続	継続	継続	継続	継続	後発医薬品への切替による調剤費の減少	該当なし				
通知数(【実績値】 2,960件 【目標値】 令和6年度：3,000件 令和7年度：3,000件 令和8年度：3,000件 令和9年度：3,000件 令和10年度：3,000件 令和11年度：3,000件)-												利用率(【実績値】 81.9% 【目標値】 令和6年度：80.0% 令和7年度：80.0% 令和8年度：80.0% 令和9年度：80.0% 令和10年度：80.0% 令和11年度：80.0%)-												
4	既存	高齢者訪問健 康指導	全て	男女	65 ～ 74	被扶養 者	1	ス	年間の診療歴から重複・ 頻回受診者を絞り込み電 話にて指導を実施	ウ	健保組合の事業として実 施 指導は外部委託	継続	継続	継続	継続	継続	継続	前期高齢者の医療費削減に向けた健康教育 、通院指導	該当なし					
実施率(【実績値】 15.3% 【目標値】 令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-												重複投薬率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.18% 令和7年度：0.18% 令和8年度：0.18% 令和9年度：0.18% 令和10年度：0.18% 令和11年度：0.18%)-												
-												多剤投薬率（6剤）(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30.0% 令和7年度：30.0% 令和8年度：30.0% 令和9年度：30.0% 令和10年度：30.0% 令和11年度：30.0%)-												

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連				
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画									
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標													アウトカム指標									
-													多剤投薬率（15剤）（【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.55% 令和7年度：0.55% 令和8年度：0.55% 令和9年度：0.55% 令和10年度：0.55% 令和11年度：0.55%)-									
3	既存		がん検診	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ	定期健診等の受診時に5大がん検診を実施	コ	健保組合の事業として実施	継続	-	-	-	-	-	-	早期発見、早期治療	2022年度の年間総医療費は7,106.9百万円、5年間で年平均2.3%増加している。加入者1人あたり医療費が5年間で年平均4.3%増加していることが主な医療費変化の要因と考えられる。	
胃がん検診実施率（全体）（【実績値】 46.0% 令和11年度：46.0%）被保険者：35歳以上被扶養者：30歳以上													胃がん精密検査受診率（被保険者）（【実績値】 82.0% 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：88.0% 令和8年度：92.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：98.0% 令和11年度：99.0%)-									
肺がん検診実施率（全体）（【実績値】 81.2% 令和11年度：81.0%）被保険者：all被扶養者：30歳以上													肺がん精密検査受診率（被保険者）（【実績値】 82.0% 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：88.0% 令和8年度：92.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：98.0% 令和11年度：99.0%)-									
大腸がん検診実施率（全体）（【実績値】 79.0% 令和11年度：79.0%）被保険者：35歳以上被扶養者：30歳以上													大腸がん精密検査受診率（被保険者）（【実績値】 82.0% 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：88.0% 令和8年度：92.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：98.0% 令和11年度：99.0%)-									
乳がん検診実施率（全体）（【実績値】 36.5% 令和11年度：37.0%）被保険者：30歳以上被扶養者：30歳以上													乳がん精密検査受診率（被保険者）（【実績値】 82.0% 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：88.0% 令和8年度：92.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：98.0% 令和11年度：99.0%)-									
子宮がん検診実施率（全体）（【実績値】 26.3% 令和11年度：26.0%）被保険者：20歳以上被扶養者：30歳以上													子宮がん精密検査受診率（被保険者）（【実績値】 82.0% 【目標値】 令和6年度：83.0% 令和7年度：88.0% 令和8年度：92.0% 令和9年度：95.0% 令和10年度：98.0% 令和11年度：99.0%)-									
胃がん検診実施率（被保険者）（【実績値】 55.1% 令和11年度：55.0%）被保険者：35歳以上													-									
肺がん検診実施率（被保険者）（【実績値】 88.7% 令和11年度：89.0%）被保険者：all													-									
大腸がん検診実施率（被保険者）（【実績値】 87.5% 令和11年度：88.0%）被保険者：35歳以上													-									
乳がん検診実施率（被保険者）（【実績値】 36.2% 令和11年度：36.0%）被保険者：30歳以上													-									
子宮がん検診実施率（被保険者）（【実績値】 24.7% 令和11年度：25.0%）被保険者：20歳以上													-									
胃がん検診実施率（被扶養者）（【実績値】 19.0% 令和11年度：19.0%）被扶養者：30歳以上													-									
肺がん検診実施率（被扶養者）（【実績値】 54.1% 令和11年度：54.0%）被扶養者：30歳以上													-									
大腸がん検診実施率（被扶養者）（【実績値】 40.6% 令和11年度：41.0%）被扶養者：30歳以上													-									
乳がん検診実施率（被扶養者）（【実績値】 36.7% 令和11年度：37.0%）被扶養者：30歳以上													-									
子宮がん検診実施率（被扶養者）（【実績値】 27.4% 令和11年度：28.0%）被扶養者：30歳以上													-									
4	新規		歯科受診勧奨	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ウ	未受診者へ歯科受診勧奨を実施	カ	健保組合から案内	-	-	-	-	-	-	歯科受診による歯周病疾患等の重症化予防	2022年度の年間総医療費は7,106.9百万円、5年間で年平均2.3%増加している。加入者1人あたり医療費が5年間で年平均4.3%増加していることが主な医療費変化の要因と考えられる。		
													歯科未受診者への受診勧奨通知の送付	継続	継続	継続	継続	継続		2022年度の歯科医療費は929.0百万円で総医療費の13.1%を占め、歯科医療費は総医療費の中で最も大きい割合を占める疾患である。歯科外来医療費のうち、治療の割合は3年間で減少傾向にあり、管理（歯石の除去などのメンテナンス）医療費割合が増加している。		
受診率(【実績値】 51.0% 【目標値】 令和6年度：51.0% 令和7年度：52.0% 令和8年度：53.0% 令和9年度：54.0% 令和10年度：55.0% 令和11年度：56.0%)-													検証方法が確立できていないため(アウトカムは設定されていません)									
8	既存		インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1	ウ,サ	各拠点での集団接種及び医療機関で個人接種費用の一部補助	カ	健保組合の事業として実施	継続	-	-	-	-	-	インフルエンザの重症化の予防	該当なし		

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連			
				対象 事業所	性別	年 齢						対象者	実施計画								
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標									
実施率(【実績値】 35.5% 【目標値】 令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)-												検証方法が確立できていないため (アウトカムは設定されていません)									
2	既存	健康ウォーク	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ア	希望者が専用サイトに登録して参加	ア	健保組合の事業として実施	継続	-	-	-	-	-	-	健康的なウォーキング習慣の定着	2022年度の生活習慣関連疾患医療費は904.2百万円で、総医療費の12.7%を占める。生活習慣関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均1.1%で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢では45-49歳が男性全体の13.1%を占めている。	
参加率(【実績値】 16.6% 【目標値】 令和6年度：17.0% 令和7年度：18.0% 令和8年度：19.0% 令和9年度：20.0% 令和10年度：21.0% 令和11年度：22.0%)-												(運動)生活習慣リスク保有者率ー運動(【実績値】 67.2% 【目標値】 令和6年度：67.0% 令和7年度：66.0% 令和8年度：65.0% 令和9年度：64.0% 令和10年度：63.0% 令和11年度：62.0%)-									
-												歩行習慣者率(【実績値】 34.2% 【目標値】 令和6年度：35.0% 令和7年度：36.0% 令和8年度：37.0% 令和9年度：38.0% 令和10年度：39.0% 令和11年度：40.0%)-									
2	既存	健康づくりキャンペーン	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ア	希望者が専用サイトに登録して参加	シ	健保組合の事業として実施	継続	-	-	-	-	-	-	健康な生活習慣を身に着ける 健康行動スコアの向上	2022年度の生活習慣関連疾患医療費は904.2百万円で、総医療費の12.7%を占める。生活習慣関連疾患医療費は2020年度から2022年度にかけて年平均1.1%で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢では45-49歳が男性全体の13.1%を占めている。	
参加率(【実績値】 14.5% 【目標値】 令和6年度：15.0% 令和7年度：15.0% 令和8年度：15.0% 令和9年度：15.0% 令和10年度：15.0% 令和11年度：15.0%)-												(食事)生活習慣リスク保有者率ー食事(【実績値】 45.2% 【目標値】 令和6年度：45.0% 令和7年度：44.5% 令和8年度：44.0% 令和9年度：43.5% 令和10年度：43.0% 令和11年度：42.5%)-									
-												(睡眠)生活習慣リスク保有者率ー睡眠(【実績値】 33.0% 【目標値】 令和6年度：32.5% 令和7年度：32.0% 令和8年度：31.5% 令和9年度：31.0% 令和10年度：30.5% 令和11年度：30.0%)-									
-												(飲酒)生活習慣リスク保有者率ー飲酒(【実績値】 10.1% 【目標値】 令和6年度：10.0% 令和7年度：9.9% 令和8年度：9.8% 令和9年度：9.7% 令和10年度：9.6% 令和11年度：9.5%)-									
5	既存	禁煙サポート	全て	男女	20 ～ 74	被保険 者	1	ケ	禁煙補助薬の提供	シ	健保組合の保健事業として実施	継続	-	-	-	-	-	-	喫煙を原因とする疾病リスクの減少	該当なし	
利用者数(【実績値】 85人 【目標値】 令和6年度：80人 令和7年度：80人 令和8年度：80人 令和9年度：80人 令和10年度：80人 令和11年度：80人)-												(喫煙率)生活習慣リスク保有者率ー喫煙(【実績値】 20.2% 【目標値】 令和6年度：20.0% 令和7年度：19.5% 令和8年度：19.0% 令和9年度：18.5% 令和10年度：18.0% 令和11年度：17.5%)-									
-												禁煙成功率(【実績値】 5.5% 【目標値】 令和6年度：40.0% 令和7年度：40.0% 令和8年度：40.0% 令和9年度：40.0% 令和10年度：40.0% 令和11年度：40.0%)-									
5	新規	こころからのサポート窓口（法研）	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	エ,ス	外部委託先の専門職による電話健康相談、面接力 ウンセリング、セカンド オピニオンを提供	ウ	健保組合の事業として実施	継続	-	-	-	-	-	-	加入者が健康に関する相談がいつでもできる よう窓口を設置	該当なし	
電話相談件数(年間)(【実績値】 249件 【目標値】 令和6年度：250件 令和7年度：250件 令和8年度：250件 令和9年度：250件 令和10年度：250件 令和11年度：250件)-												検証方法が確立できていないため (アウトカムは設定されていません)									
カウンセリング件数(年間)(【実績値】 101件 【目標値】 令和6年度：100件 令和7年度：100件 令和8年度：100件 令和9年度：100件 令和10年度：100件 令和11年度：100件)-																					
6	新規	健保保健師による健康相談等	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	3	エ,オ,サ	各拠点、相談窓口などを通じ、電話・メール・対面などの方法で従業員の健康相談を実施	イ,ケ	事業所の健診担当と連携しながら健保 保健師が主体となり実施	継続	-	-	-	-	-	-	従業員が活き活きと働けることを目的とし、保健師が健康に関する相談に応じられるよう電話・メール等の窓口を設置	該当なし	

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
													実施計画													
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度								
アウトプット指標													アウトカム指標													
相談件数(【実績値】284件)・ 【目標値】令和6年度：300件 令和7年度：300件 令和8年度：500件 令和9年度：550件 令和10年度：600件 令和11年度：650件													検証方法が確立できていないため (アウトカムは設定されていません)													
2	既存	健診前ちょこ っとダイエット	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ア	健診前の2カ月間レコーデ ィングダイエットに取り 組むプログラムを提供	シ	健保組合の事業として実 施	継続	-	-	-	-	-	-	肥満予防・減量対策	2022年度の生活習慣関連疾患医療 費は904.2百万円で、総医療費の12 .7%を占める。生活習慣関連疾患医 療費は2020年度から2022年度にか けて年平均1.1%で増加している。 当組合は男性加入者が多く、年齢 では45-49歳が男性全体の13.1%を 占めている。						
BMI25以上の参加率(【実績値】10.8% 【目標値】令和6年度：15.0% 令和7年度：15.0% 令和8年度：15.0% 令和9年度：15.0% 令和10年度：15.0% 令和11年度：15.0%)-													BMI25以上減量成功者率(【実績値】16.1% 【目標値】令和6年度：20.0% 令和7年度：20.0% 令和8年度：20.0% 令和9年度：20.0% 令和10年度：20.0% 令和11年度：20.0%)-													
5	新規	ヘルスケア研 修	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	エ,ク,サ	健保組合でテーマ、日時 を決めてオンラインセミ ナーを開催する	ア,ケ	健保組合の事業として実 施	継続	-	-	-	-	-	-	生活習慣を原因とする疾病リスクの減少・ 健康意識の向上・ ヘルスリテラシー向上	該当なし						
参加率(管理職)(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-													検証方法が確立できていないため (アウトカムは設定されていません)													
参加率 (従業員)(【実績値】99.0% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-																										
5	既存	各種セミナー	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ケ,サ	健保組合でテーマ、日時 を決めてオンラインセミ ナーを開催する	ア	健保組合の事業として実 施	継続	-	-	-	-	-	-	生活習慣を原因とする疾病リスクの減少・ 健康意識の向上・ ヘルスリテラシー向上	該当なし						
参加人数(【実績値】264人)・ 【目標値】令和6年度：500人 令和7年度：500人 令和8年度：500人 令和9年度：500人 令和10年度：500人 令和11年度：500人													アウトカム指標がないため (アウトカムは設定されていません)													
8	既存	常備薬配布	全て	男女	18 ～ 74	被保険 者	1	ス	申込者に対して1,500円ま での常備薬を提供	シ	健保組合の事業として実 施	申込案内書を自宅へ郵送 し、申込み商品は一定料 金までは無料で提供し自 宅へ配送。無償で、消炎 ・ハップを配付	-	-	-	-	-	-	スイッチOTCの推進を目的とし、家庭用常 備薬の安価での購入機会を提供	該当なし						
申込率(【実績値】61.6% 【目標値】令和6年度：65.0% 令和7年度：65.0% 令和8年度：65.0% 令和9年度：65.0% 令和10年度：65.0% 令和11年度：65.0%)-													- (アウトカムは設定されていません)													
予算 措 置 な し	5	新規	スポーツジム 法人契約利用	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ケ	利用希望者は契約先施設 にて直接申込む	ク	健保組合の事業として実 施 スポーツクラブ「ルネサ ンス」へ委託	継続	-	-	-	-	-	運動施設の利用を手軽にし、スポーツと触 れ合う機会を提供	該当なし						
	利用者数(月平均)(【実績値】101人 【目標値】令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)-													(運動)生活習慣リスク保有者率ー運動(【実績値】67.2% 【目標値】令和6年度：67.0% 令和7年度：66.0% 令和8年度：65.0% 令和9年度：64.0% 令和10年度：63.0% 令和11年度：62.0%)-												
	-													運動習慣が適切な者の割合(【実績値】26.9% 【目標値】令和6年度：27.0% 令和7年度：28.0% 令和8年度：29.0% 令和9年度：30.0% 令和10年度：31.0% 令和11年度：32.0%)-												

注1) 1．職場環境の整備 2．加入者への意識づけ 3．健康診査 4．保健指導・受診勧奨 5．健康教育 6．健康相談 7．後発医薬品の使用促進 8．その他の事業

注2) 1．健保組合 2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3．健保組合と事業主との共同事業

注3) ア．加入者等へのインセンティブを付与 イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ．ＩＣＴの活用 オ．専門職による健診結果の説明 カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ．定量的な効果検証の実施

ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ．就業時間内も実施可（事業主と合意） シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス．その他

注4) ア．事業主との連携体制の構築 イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ．自治体との連携体制の構築 カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ．保険者協議会との連携体制の構築 ク．その他の団体との連携体制の構築 ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ．その他